

クラス道徳

お互いの「よさ」を

見つけ合う活動をしよう。

こんな活動をしました！！4人で1つのグループをつくっての活動

- (1) 自分の「よさ」をいくつか書きました。
- (2) グループのなかまの「よさ」を一人につき3つ書いてあげました。
- (3) 「なかまのよさ」を伝えてあげました。
- (4) 表に、あてはまる「自分の思う「自分のよさ」「他人が思う「自分のよさ」」など貼っていきました。

	自分は知っている	自分は気づいていない
他人は知っている	自分も友達も知っている「よさ」	自分は気づいていないが、他人は知っている「よさ」
他人は気づいていない	自分は知っているけど他人は気づいていない「よさ」	自分も他人も気づいていない「よさ」

どんなことを書いてもらったかな？
自分の知らない「よさ」とは？

この部分の「よさ」はこれから見つけていく部分！！

自分の知っている
どんな「よさ」があったかな？

他人と比べるものさしは、引き出しの奥にしまってしまおう。

今日からは、比べてみようきのうの自分と。

(心のノート)

自分の「よさ」は、言いにくい部分もあるかもしれません。そこで、周りの仲間の力を借りて、自分の「よさ」を考えていくことで自分の「よさ」も、仲間の「よさ」も見つけることができると思います。

<みんなの感想>

- 自分の良さに気づく。それはとても難しいことだと思います。だけど、それに気づけたらきっといい、素敵な人になれるんだなあと思いました。(Tさん)
- 今日の授業で、自分の知らない自分の良さをたくさん知れた。自分が良さと思っていなくても、友達からは良さとして認められてうれしかった。(Iくん)
- 友達から見ると自分とは違った考え方、見方をしている、他の人から見ると自分のことはこんなふうに見えるんだなあと思いました。(Uさん)
- 自分の知っている面と知らない面があった。相手から見えている自分と自分自身の印象は同じとは限らない。(Nくん)
- 人のいいところを見つけるのは難しかった。でも、それを見つけてあげる人はとってもすごい人だと思った。(Nくん)
- 自分の良さも、グループの人の良さもしっかり考えられたから良かった。だいたいのは、自分もグループの人と同じような考えをもっていると思った。相手のことを考えられる良い機会だった。(Kくん)
- みんな良いところを見つけてくれている。みんな自分に自信をもてていないところがあるんだろうなと思った。(Kくん)
- 今日の授業で、自分は気付いていないけど、みんなが気づいていることとかがあってすごいなと思った。相手からよさがいっぱい出てくるような人になれたらいいなと思った。(Yくん)
- 自分では気づいていない自分の良い所が、相手にはたくさん気づかれているのを感じた。自分で自分の良い所を探すのは、難しいと思いました。(Oくん)
- 今日の授業で学習したことは、自分では気づいていないことでも、人に良いことと認められたことはうれしいことだと思いました。(Hくん)
- やっぱり自分が知らなくて、他人が知っている枠が一番多かった。自分も他人も知らない「よさ」はなかった。この部分は多分誰のワークシートにもないんじゃないかなって思った。(Yさん)
- 自分よりも友達の方が、私のことを見てくれているんだなあと思いました。(Eさん)
- 相手が自分のことをこんな感じで思ってくれているのだなあと感じられた時間だったし、相手のことをよりよく考えられた時間でもあったと思う。(Mさん)
- 私の良い所はあるんだなあと思った。友達のいい所をたくさん見つけられてよかった。(Kさん)
- 自分の良さをみんなはこう思ってくれているとわかったし、自分の良さはこれなんだとわかった。一人ひとり良さは違うし、一人にたくさんのよさがある。班の3人に良いと思われた所は、これから伸ばしていこうと思いました。(Yさん)
- いつもと違う、普段そんなに関わりのない人と関わりをもつことで、いつもは気づかないような良い所を見つけることができたし、前より仲良くなれたからいいと思いました。こういう時間が増えたらいいなと思いました。(Kさん)



「ウサギとカメ」の話を
知っているだろうか？
カメがウサギよりも早くゴール出来たのは、コツコツと走り続けたからだろう。
カメは自分を知っていたからこそ
そうできたのではないのでしょうか？